

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2008-297911(P2008-297911A)

【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-049

【出願番号】特願2007-141867(P2007-141867)

【国際特許分類】

F 0 4 D 33/00 (2006.01)

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

F 0 4 D 29/00 (2006.01)

B 0 8 B 5/00 (2006.01)

【F I】

F 0 4 D 33/00

H 0 5 K 7/20 K

F 0 4 D 29/00 B

F 0 4 D 29/00 A

B 0 8 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

針電極と、針電極に対向して配置された対向電極と、両電極を保持する筐体とを備え、両電極間での放電により発生したイオン風を利用した送風装置であって、筐体の内部に、針電極と対向電極とによって構成される送風部が設けられ、複数の送風部が、送風方向に沿って直列に配されたことを特徴とする送風装置。

【請求項 2】

筐体は、屈曲して形成され、屈曲箇所を送風部が配されたことを特徴とする請求項 1 記載の送風装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の送風装置を汚れ除去のために備えたことを特徴とする光学機器。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の送風装置を汚れ除去のために備えたことを特徴とする人体内に挿入される医療機器。

【請求項 5】

請求項 1 または 2 に記載の送風装置を換気、冷却、送風のいずれかの用途のために備えたことを特徴とするウェアラブル機器。